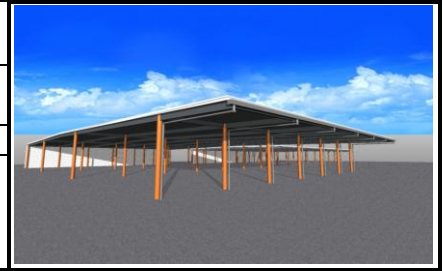


# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	KC臨海物流センター／パイ置場(A棟)	階数	地上1F
建設地	大阪府堺市西区築港新町3丁8	構造	RC造
用途地域	工業専用地域、法22条地域	平均居住人員	2人
気候区分		年間使用時間	3,750時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年3月 予定	評価の実施日	2012年8月8日
敷地面積	209,873 m <sup>2</sup>	作成者	山本 盟
建築面積	2,910 m <sup>2</sup>	確認日	2012年9月1日
延床面積	2,910 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	67%
③上記+②以外の	67%
④上記+	67%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

音環境	温熱環境	光・視環境	空気質環境
N.A.	N.A.	N.A.	N.A.

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 4.0

機能性	耐用性	対応性
N.A.	3.2	5.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.9

生物環境	まちなみ	地域性・
1.0	3.0	1.5

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

建物の	自然エネ	設備システ	効率的
N.A.	3.5	5.0	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

水資源	非再生材料の	汚染物質
3.0	3.0	2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

地球温暖化	地域環境	周辺環境
4.3	2.6	3.1

3 設計上の配慮事項	
<b>総合</b> 製品(塩ビパイプ等)の品質保全のための屋根、西面壁を設けたが、環境への影響を最小限となる様に配慮した。トップライト・LED照明などの採用により省エネルギーに配慮した。	<b>その他</b> 既存舗装面の利用により廃棄物の削減に配慮した。
<b>Q1 室内環境</b> 製品の品質保全のため、紫外線を遮る屋根を設置。	<b>Q2 サービス性能</b> 十分に広い荷捌き動線の確保と、フォークリフトの作業性を考慮した屋根高さに配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> トップライトを設け照明器具を極力少なくし、照明器具は全てLEDを採用とし、省エネルギーに配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 壁は一方にしか設けず、殆ど屋根と柱のみの建物とすることで、用途上必要最小限の建築物とし、省資源に努めた。
	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 壁は一方にしか設けず、殆ど屋根と柱のみの建物とすることで、室外環境への影響を少なくする。
	<b>LR3 敷地外環境</b> 照明器具の選定・配置・照度検討により、敷地外への光害の抑制を考慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	KC臨海物流センター／パイプ置場(A棟)	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市西区築港新町3丁8	1.2	B+
	主用途／延床面積	工場 / 2,909.55 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	
省エネ対策	4	
みどり・ヒートアイランド対策	2	
安全快適な暮らし	2	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア					
CO <sub>2</sub> 削減		評価項目		スコア	評価点
	地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		4.3	4
省エネ対策		評価項目		スコア	評価点
外皮性能		CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	0.0	4
			住居・宿泊部分	0.0	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		0.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.5	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		5.0	
	効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.0	
みどり・ヒートアイランド対策		評価項目		スコア	評価点
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		1.0	2
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		2.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		2.0	
安全快適な暮らし		評価項目		スコア	評価点
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		0.0	2
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		1.0	
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		1.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし	
特に配慮した事項	
三方向外壁無し、トップライトにより、自然採光を多く採入れ、照明器具は全てLEDを採用とし省エネルギーに配慮した。	